

「若手の指導法」お悩み相談室

～令和時代の新人も、この接し方なら成長が加速する～

株式会社GO FRONTIER 代表取締役 石田 祐一郎

■小さな一歩から始めよう

令和3年はまさにコロナ禍における人材育成の難しさを実感する年となっています。

新入社員研修は度重なる緊急事態宣言の発出で、ほぼオンラインでの研修となったところが大半です。その結果、人事担当者、同期とのコミュニケーションも限られ、社会人になった感覚が希薄なまま配属となる事態が起きています。

新人にしても研修で学んだことは頭では分かっていますが、いざ仕事を始めると、なかなか現場の雰囲気や、上司、先輩とのコミュニケーションのとり方が分からず悩んでいる人も多いのが実態です。

本稿『「若手の指導法」お悩み相談室』では、そんな若手の育成で悩んでいる人事・教育担当者に向けて、指導における考え方、解決方法を紹介しています。

ぜひ何かしらのヒントを得たら、小さな一歩でいいので実行してほしいと思います。

必ず若手の考え方、行動に、未来を見据えた小さな変化が起きるはずです。

CONTENTS

- Q1 新入社員との世代間ギャップを埋めるコミュニケーションとは？
 - Q2 職場の上下関係を受け入れられない若手への関わり方とは？
 - Q3 すぐに答えを求める若手への対処法とは？
 - Q4 厳しい指導をやりたくてもできない上司へのアドバイスとは？
 - Q5 指示したことしかできない、意見が出ない若手への関わり方とは？
 - Q6 責任感を持った仕事を早くできるようにする方法とは？
 - Q7 電話対応をすぐ他の人に丸投げする若手の指導の仕方とは？
 - Q8 リモートに慣れてしまい、対面での仕事が苦手な若手への指導の仕方とは？
 - Q9 苦手な仕事はやらない若手の指導の仕方とは？
 - Q10 目標達成のためのアドバイスを成果につなげるコツとは？
 - Q11 新入社員の仕事のやりがいの見つけ方とは？
 - Q12 チャレンジ意欲を持って仕事に取り組みさせるミーティングの仕方とは？
- あとがき 時代の価値観の変化を見誤らない

■石田 祐一郎 (いしだ ゆういちろう) 株式会社GO FRONTIER 代表取締役 www.gofrotier.co.jp

1989年婦人服アパレルブランドに入社。メンバーから店長、営業マネージャー、営業課長、商品部長、取締役営業部長と歴任。10年赤字であったブランドの営業課長となり、営業組織を立て直し黒字化を実現。退職後柔道の石井慧を北京オリンピックで金メダルに導いたメンタルコーチに師事し、コーチングスキルを習得。その後、経営者の課題解決、モチベーションの向上、ビジネススキルのレベルアップ、ビジネス案件の成果達成をサポート。2016年株式会社GO FRONTIERを設立し、人材育成マネジメントとコーチングを融合させた人材育成ノウハウを柱に研修事業を展開。年間150回以上登壇。

2019年『今どきの若手の育て方』(アルファポリス)を出版。プライベートでは歴史好きと日本酒好きが集まる【銀座ゆる酒会】を主催。

